



学校だより 6月号

平成30年6月15日
足立区立第四中学校
校長 高橋 淳

素直な気持ちをもつ

(6月11日 校長講話より)

先月の全校朝礼の時に挨拶の話をしました。「挨拶は、コミュニケーションの入り口であり、自分からコミュニケーションの入り口を作る行為である。」そのような話をしたところ、すぐに反応してくれた生徒が多数いました。朝の挨拶をしてくれている生徒、廊下で会った時に、にこやかな挨拶をしてくれる生徒が増えたということは大変うれしいことだと思います。何がうれしかったかというと、そういう行為をしてくれたということもありますが、素直に話を聞き行動し、自分自身を改善させることができる生徒が四中にはたくさんいるということです。先生方の話を素直に受け止める。これは間違いなく、勉強やスポーツの上達につながります。人間として大人に成長していくために最も必要なことのひとつなのです。中学生の時に成長していく人のほとんどが素直に話を聞き、課題を言った時に直そうと努力していました。残念ながら成長が少なかったと思える生徒は「だって」と言ったり、あげ足をとったり、反論をしたり、特に注意を受けたりしたとき、素直に自分を認められない生徒達でした。

例えばこういう場面を想像してください。満員電車の中で電車が揺れて隣の人の足を踏んでしまった、その時あなたならどうしますか？素直な気持ちがあれば「ごめんなさい」「すみません」と言えますよね。ところが素直でない人は「やろうと思ってやったんじゃない」「電車が揺れたからだ」そういった気持ちになってしまいます。みなさんはどちらですか？言葉としてそういうことが言えるでしょうか？そういう言葉を言えない人のほとんどが物事を自分中心に考えます。コミュニケーションを正しくとるためには、素直な気持ちをもって相手のことを考える。ということが大切だと思います。普段の生活の中で皆さんはできているのでしょうか？先生から指導されたときに素直に自分のいけないことを反省できていますか？先ほどの例でいうと、「ごめんなさい」といった後に相手だって電車が揺れているということがわかれば「大丈夫ですよ」と反応してくれる。これは立派なコミュニケーションです。そのようなコミュニケーションをとれる人を「大人」と言います。みなさんもさりげなく普通にそういうことができるようになるといいと思います。誰かに何かをしてもらったら「ありがとう」が言える、誰かに思わず迷惑を掛けてしまったら「ごめんなさい」が言える。こういう素直な気持ちをもっている人は、人間として成長できる、と思います。

3年生が運動会、修学旅行で活躍した場面をしっかりと見ることができました。「やっぱり3年生になると違うな」「成長したんだな」と思います。その中で自分自身に問い掛けてください。素直な気持ちで前向きに他人のことを考えて行動できるのかどうか。これがさらに成長する手立てです。

2年生は職場体験の準備をしています。そういう気持ちをもって準備していますか。見知らぬ人と一緒に仕事をする、その中で自分が試される。ただ単に頑張っただけでは認めてもらえない。コミュニケーションをしっかりとる努力をしていますか？

1年生はこのような先輩たちが大勢いることを忘れないでください。ぜひ、手本にしてほしいと思います。素直に話しや指導を聞き、成長している1年生もたくさんいますが、残念ながらにはまだまだ子供の気持ちが抜けない人も何人かいるようです。失敗を反省せずに言い訳をしたり、クラスや仲間のことを考えずに自分勝手な行動をしている人も目につきます。

素直な気持ちをもって、相手のことを考えられるような人間に成長してほしいと思っています。

第72回 運動会

主任教諭 妹尾亜沙美

5月26日（土）練習から天候に恵まれ、予定通りに運動会が挙行されました。四中の伝統である「生徒主体の運動会」は、今年度も実行委員を中心に学年・クラスが団結し成功裏に終わることができました。

当日を迎えるまでには様々なドラマがありました。正直、学年ごとの温度差を感じざるを得ないスタートでした。3学年の中で1番モチベーションの高さを感じたのは中堅学年である2年生。3年生の背中を押し、1年生には手本となるべく背中を見せてくれました。3年生は運動会直後にある修学旅行の準備と同時進行しなければならない過密スケジュールの中で、運動会のみ集中することは難しい状況でした。しかし、さすがは3年生。見事に両立を成し遂げ、最上級生として立派な取り組み姿勢を見せてくれました。中学校生活初めての大きな行事を迎えた1年生は、元気の良さは1番でしたが集中力に欠けクラスごとのまとまりもありませんでした。そんな温度差のあった運動会準備も結団式を皮切りに、学年練習・全体練習と回を増すごとにその差は埋まっていきました。その陰には、実行委員の「運動会の成功」への思いの強さがありました。各クラスの現状を考慮したメンバーの選出、学年練習の組み立て、やる気を引き出す言葉かけや具体的な説明の工夫など、限られた時間を実りある練習にするため多くの時間を費やしました。実行委員の思いが伝わり、その思いを受け止めてくれたクラスメイトがいたからこそ、クラスに波及し、成功へとつながったのだと思います。

また、運動会の華となった「四中御神楽」は更なる深化を目標に、よりスムーズな隊形移動と魅せる演舞を今いるメンバーの最上級を披露できるように頑張りました。紆余曲折はありましたが、思いが一つとなった「四中御神楽」を披露することができたと思います。伝統は継承されました。

この運動会で培った力が成長の糧となり、一人一人が学校生活の様々な場面の中で発揮していくことを期待しています。お疲れさまでした。



運動会の結果は次のとおりです。

	1 年	2 年	3 年
優 勝	3 組	2 組	1 組
準優勝	4 組	5 組	3 組